

令和七年六月二日 開会
令和七年六月魚津市議会定例会提出議案

市長提案理由説明要旨

本日ここに、令和七年六月魚津市議会定例会が開催されるに当たり、市政運営について所信の一端を申し述べますとともに、提案いたしました案件について、その概要をご説明申し上げます。

はじめに、「今般の経済情勢」について、申し上げます。

五月二十二日に発表されました政府の「月例経済報告」では、個人消費や設備投資を中心に持ち直しの動きが出ているものの、米国の関税措置の動向などを踏まえ、「景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる」、とされております。

先行きにつきましては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待される一方で、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっているほか、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、景気を下押しするリスクとなっている、と示されております。

また、消費者物価指数は上昇傾向が続いており、米価も高止まりを見せる中、国においては、予備費を活用し、電気・ガス料金への支援や、各地方自治体が地域の実情に応じて使うことのできる「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の拡充を予定しておられます。

一方、本市の経済情勢につきましては、魚津管内における四月の有効求人倍率が一．二六（前年同月：一．三〇）と、二か月連続で前年同月を下回るなど、いまだ改善の動きが弱い状況にあります。

このことから、本市といたしましては、今後の経済状況や国・県の動向を注視しながら、地域経済の回復と安定的な市民生活の確保に向けて、必要に応じ、適切な対策を講じてまいりたいと考えております。

次に、「最近の市政の取組状況」について、申し上げます。

去る四月二十七日に、春の一大スポーツイベントであります「第四十五回魚津しんきろうマラソン」が今年も盛大に開催されました。

ゲストランナーに芸能界屈指のランナーとして知られるタレントのハリー杉山

さんをお招きし、初夏を感じさせる陽気の中、出場されたランナーの皆さんには、沿道からの声援や拍手を背に、魚津の地を爽快に走っていただけたものと思っています。

今大会においては、前回大会より二百六十三名多い四千五百三十七名の方にエントリーいただき、コロナ禍以降、参加者が増加傾向にあることは大変嬉しく感じております。今後も、市内外から更に多くのランナーにご参加いただけるよう、引き続き大会の魅力向上に努めてまいりたいと考えております。

また、五月十八日には、魚津駅前通りにおいて、「第十三回よっしゃ来い！！CHOUROKU(ちょうろく)まつり」が開催されました。

ダンスコンテストでは、スクール部門に十六チーム、コンテスト部門に二十六チームが出場し、趣向を凝らしたオリジナルのダンスが披露され、熱気あふれる華麗な踊りに会場全体が大いに盛り上がっておりました。

また、県内外から十団体が参加されました「よさこい魚津」では、各グループが迫力ある力強い演舞を披露されたほか、市役所前公園にて同時開催された「魚津ビアパーク」においても、県内外から四十店舗もの多種多様な飲食ブースが出店され、子どもから大人まで多くの方にご来場いただき、大いに楽しんでいただけたものと思っています。

市民自らが企画・運営するこのイベントは、市民に元気と活力を与えると同時に、市内外に魚津の魅力を広く発信できたものと大変嬉しく感じております。

是非、今後も継続的に実施いただき、更なる交流人口・関係人口の拡大につながっていくことを期待したいと思っています。

次に、「旧松倉保育園の利活用」について、申し上げます。

本市では、園児数の減少により閉園となった旧松倉保育園を有効に活用し、市全体の振興や地域の活性化を図るため、本年三月二十八日から、園舎及び園舎敷地を一体的に活用する事業者を募集いたしましたところ、一事業者から利活用の提案を受け、五月二十九日にプロポーザル審査会を実施した結果、株式会社アイ・シー・エイを利活用候補者として選定いたしました。

株式会社アイ・シー・エイの提案内容といたしましては、旧松倉保育園を日本語学校として利活用を図り、外国人留学生を本市へ呼び込むとともに、地元企業との連携により雇用の創出を図るなど、持続可能なまちづくりの推進役として地域振興に貢献したいというものであります。

今後は、株式会社アイ・シー・エイと旧松倉保育園の利活用に向けて詳細を協議の上、七月末までには旧松倉保育園の賃貸借契約を締結する予定としております。

この利活用により、本市の産業振興、雇用促進及び地域の活性化につながることを、心から期待しております。

次に、「たてもん祭りを次世代につなぐプロジェクト」について、申し上げます。

本市では、地域外の方々とのつながりを大切にし、市民の皆さんとともに地域の活性化を推進する取組の一環として、令和五年度に「魚津まつり応援団」の立ち上げを行いました。

この取組は、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「たてもん祭り」の伝統文化の継承と担い手不足の解消を目的としており、県外から「たてもん祭り」にご協力いただける方を募集の上、地域の皆さんとともに活動いただいております。

今年度においては、「ふるさと納税型クラウドファンディング」を活用し、「魚津まつり応援団」の取組を更に発展させていきたいと考えております。

クラウドファンディングの募集期間は先月一日から七月三十日までを予定しており、目標金額とする百万円にはまだ届いておりませんが、今後、市内外に広く周知を図りながら、本市の伝統行事であります「たてもん祭り」を次世代につなげていけるよう、ご協力を仰いでまいりたいと考えております。

それでは、「今定例会に提出いたしました案件」について、ご説明申し上げます。

まず、予算関係の議案といたしまして、「議案第四十三号 令和七年度魚津市一般会計補正予算（第一号）」につきましては、歳入歳出予算の総額に一億八千二百五十六万八千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ二百十七億七千五十六万八千円としたいのであります。

今回補正する主なものは、国や県の補助を活用したオンデマンド交通実証運行の実施や看護小規模多機能型居宅介護事業所整備への支援のほか、企業からの寄附金による災害用物資や資機材等の整備、台湾新北市との教育分野のMOU（基本合意書）の締結に係る経費など、必要欠くことのできないものに限定し、計上いたしました。

これらの財源として、国庫支出金、県支出金、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入及び市債を充当いたしております。

「議案第四十四号 令和七年度魚津市介護保険事業特別会計補正予算（第一号）」につきましては、歳入歳出予算の総額に七十七万円を追加し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ四十八億一千七百七十二万五千円としたいのであります。

今回の補正は、法律改正に伴う介護保険システムの改修費を増額するものであり、財源として繰入金を充当いたしております。

予算以外の議案といたしましては、まず、条例関係の議案といたしまして、議案第四十五号から第五十号まで、「魚津市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について」など、一部改正を六件提案いたしております。

また、その他の議案といたしましては、議案第五十一号から第五十三号まで、「消防団ポンプ自動車購入に係る物品売買契約の締結について」など、三件提案いたしております。

最後に、報告案件といたしましては、報告第二号から第五号まで、「令和六年度魚津市継続費繰越計算書」などについて、四件報告いたしております。

以上、本日提出いたしました案件の説明といたします。

何とぞ、慎重審議のうえ、議決賜りますよう、お願い申し上げます。